

環境活動や次世代育成支援活動、各地域の課題解決活動に重点的に取り組めます。

地域・社会共生活動基本方針

九州電力は、快適で豊かな地域・社会の実現と、その持続的な発展を目指し、良き企業市民として、積極的に地域・社会共生活動を推進します

2017年度の主な取組み

- 地域・社会共生活動の更なる充実へ向けた取組み
- 環境活動
- 次世代育成支援活動
- 各地域の課題解決活動

地域共生活動参加者実績

(2016年度実績)

約**6万人**

地域の皆さまの期待に応え、地域の課題解決に貢献する地域・社会共生活動を更に充実させるため、環境保全活動や環境教育などの「環境活動」や、子どもの健全育成に寄与する「次世代育成支援」、地域の皆さまと協力して取り組むボランティア活動「こらぼらQでん」などの「各地域の課題解決活動」を重点活動に定め、グループ全体で推進することとしています。

具体的な取組み事例の紹介

■九電みらい財団の設立

地域の皆さまの期待に応え、地域の課題解決に貢献する活動を更に充実させるため、「環境活動」と「次世代育成支援活動」を行う「九電みらい財団」を2016年5月に設立しました。

本財団では、地域の皆さまと取り組んできた、くじゅう坊ガツル湿原での環境保全活動や、当社の水源かん養林を活用した環境教育活動を充実させるとともに、地域の諸団体の皆さまが実施する次世代育成支援活動に対して、助成を行っています。

■熊本地震被災地の復興支援に向けた取組み

熊本地震の復興に向けて、様々な活動を行っています。

2017年3月までに、延べ689名の社員が、被災された個人宅の片づけやがれき撤去などを実施しました。

グループ会社の九電旅行サービスでは、グループ会社社員を対象に、ボランティア・観光・情報発信の3点で被災地に貢献する「トリプルボランティアツアー」を実施。4回で約120名が参加しました。

2016年11月には、JR博多駅内の商業施設で観光物産イベントを開催するとともに、福岡市天神地区に「阿蘇復興支援ブース」を出展しました。被災された事業者の皆さまが熊本県産品を販売され、多くの方にお買い求めいただきました。

また、2017年2月には、熊本県産品を集めたカタログを作成し、当社のネットワークを活用して広く購入斡旋を実施。同年7月売上金の一部を熊本県へ寄附しました。

これからも、被災地に寄り添い、さまざまな形で熊本地震被災地の復興に向けた取組みを行っていきます。

活動内容

○環境活動

- ・ 坊ガツル湿原(大分県竹田市)での環境保全活動
- ・ 山下池周辺(大分県由布市)での環境教育活動

○次世代育成支援活動

- ・ 地域の諸団体が実施する「子どもの学習支援や子育て世帯支援活動」などの活動への助成



割れた瓦の撤去作業



熊本復興応援カタログ



支援物資の運搬作業



復興支援観光物産展(博多駅)